

夏休み市民連句会

令和三年八月十一日

於 捩野市桃園集会所



本年も、コロナ感染の収まらない中でしたが、市民の皆様を対象として市民連句会を開催いたしました。

参加者は十名でしたが、密を避けて、万全の感染対策の上二座に分かれて二十韻をまきました。

次回は、多くの市民の皆さんにご参加いただけるようコロナの終息を願うばかりです。今後もご賛同の程よろしくお願いいたします。

二十韻「蟬しぐれ」の巻

捌 宮澤 次男

早朝の寝ぼけまなこに蟬しぐれ
底を色どるベゴニアの赤

樂し氣に学童塾に急ぐらん

ほつと一服暖る珈琲

蹲踞にゆらりゆらりと盆の月

そぞろ歩けば紅葉且つ散る

秋うららそつと抱き寄す旅の宿

青息吐息時短営業

オンライン三島大社に願掛けて

オノナの終息を願うばかりです。

次回は、多くの市民の皆様にご参加いただけるようコロナの終息を願うばかりです。

今後もご賛同の程よろしくお願いいたします。

二十韻「草雀雀」の巻

捌 土屋 日菜

良き寝覚め宿の蹲草雀雀

有明月の淡き輝き

稻の波押して返して逆巻きて

七大陸の融和深まり

山の神留守の間のこの旨き酒

手鍋下げるの恋の始まり

大家族マイクロバスで動物園

母の弁当いつもコンビニ

金目鯛目指す船団伊豆の沖

寒梅を青にコーヒーブレーク

懺悔してすべての所行許されて

赤いルージュの君が眩しく

今度こそ想い届けとボスト前

涼月は裏も表もご存じで

凍月懸る尖塔の上

通夜終えてモノレールにてつく家路

積ん読のまま巣ごもりの日々

禁断の恋は戻れぬ倫なれど

胸枕にもイランイランを

核のない世界平和を夢に見る

富士山麓に耕人の驕

表彰台メダル高々花吹雪

空突き抜けて雲雀鳴る

長引くコロナ禍のため、今年も多くの事業を断念せざるを得ませんでした。

また宗祇法師生誕六百年記念事業、講演会、冊子発行、百韻奉納が余裕がありませんでした。

次年度こそは多くの皆さまにお会いし、恒例の事業を一緒に楽しむ事ができますことを願っております。

会員の皆さまもくれぐれもお身体をお大切に、益々のご活躍をお祈り申し上げます。



お知らせ

総会のご案内

◎日時／4月17日(日) 午後1:30より

◎場所／東西公民館3階 会議室1、2

*コロナ禍のため中止の場合はご連絡します。

会員募集中

裾野市宗祇法師の会ではともに活動してくださる方、または会員として後方から支えてくださる方を募集しています。

※お知り合いなどご紹介ください。

詳しくは [裾野市宗祇法師の会](#) 検索
または、お電話で 090-4851-1804(勝又まで)